

2 住民のコミュニティ意識

表3-2-1、表3-2-2、表3-2-3は、地域住民のコミュニティ意識と治安状況との関連（相関係数）を示したものである。相関係数については、絶対値が.15以上のものについて言及していくことにしたい（後続の節の表についても同様）。

表3-2-1から表3-2-3に共通して示された、治安状況以外の変数の内容は以下のとおりで、いずれも各町丁目単位で回答者の回答を平均したものである。

「地域に対する効力感」・・・住民自身が「自分が地域活動に参加することで地域をよくすることができる」と考えている程度を意味するもので、以下の3項目の得点を合計した。1) 私は、地域の人々をまとめることができる、2) 私は積極的に地域の活動に参加して、地域を住み良くすることができる、3) 私は地域に問題が生じたときに、どこへ援助を求めればよいのかわかっている。回答選択肢は、「まったくその通り」から「まったくくちがう」までの4件法で、肯定的回答の方をプラスとして、得点化した。

「地域への愛着」・・・地域住民が地域に対してどの程度心理的に結びついているか、すなわち愛着を持っているかを測ったもので、以下の3項目の得点を合計した。1) 私は同じ地域の人たちと話が合う、2) 私は同じ地域に住んでいる人と、他の地域の人とを見分けることができる、3) 私は現在住んでいる地域に、できるだけ長く住みたい。回答選択肢の得点化の要領は「地域に対する効力感」と同様。

「住民間のまとまり」・・・地域住民がどの程度協力して地域の問題を解決することができるかの評価を測定したもので、以下の3項目の得点を合計した。1) この地域では、問題が生じたら、みんなで協力して解決することができる、2) この地域の人たちはだいたい同じような物の考え方をしている、3) この地域の人たちは、お互いによく助け合う。回答選択肢の得点化の要領は「地域に対する効力感」と同様。

「不審者発見時の対応」・・・「不審者が地域をうろついている」という事態を想定して、回答者本人あるいは近所の人が他の近所の人に注意を促したり、警察に連絡するかどうかを、「必ずするだろう」「まあするだろう」「しないだろう」の3件法で尋ねた。肯定的回答の方をプラスに得点化した。

「少年の喫煙発見時の対応」・・・「不審者発見時の対応」と同様に、「(地域内で) 少年が集団でたむろして、たばこを吸っている」という事態を想定して、回答者本人あるいは近所の人が少年に注意したり、警察に連絡するかどうかを、「必ずするだろう」「まあするだろう」「しないだろう」の3件法で尋ねた。肯定的回答の方をプラスに得点化した。

「少年の問題行動発見時の対応」・・・「不審者発見時の対応」と同様に、「(地域内で) 少年が集団でたむろして、たばこを吸っている」あるいは「(地域内で) 少年が路上に駐

車してある車を傷つけようとしている」という事態を想定して、回答者本人あるいは近所の人が少年に注意するかどうかを、「必ずするだろう」「まあするだろう」「しないだろう」の3件法で尋ねた。肯定的回答の方をプラスに得点化した。

表3-2-1 住民のコミュニティ意識と犯罪被害の自己報告・伝聞との関連

	空き巣などの侵入盗		家や敷地への無断侵入		車や壁が無法に壊されること	
	被害	伝聞	被害	伝聞	被害	伝聞
地域に対する効力感	0.14	0.03	0.11	-0.02	-0.20	0.02
地域への愛着	0.22	0.09	-0.05	0.10	-0.30	-0.07
住民間のまとまり	0.13	-0.04	-0.09	0.02	-0.27	-0.22
不審者発見時の連絡	0.14	0.15	0.05	0.03	-0.12	-0.09
少年の喫煙発見時の連絡	-0.04	0.14	-0.09	0.08	-0.24	0.08
少年の問題行動発見時の連絡	-0.14	0.10	-0.16	-0.05	-0.12	-0.01

いずれも、地域のまとまりを住民の意識の側面から測った変数であるが、これらの変数と回答者の自己報告による犯罪被害経験及び伝聞との関連（相関係数）を示したのが、表3-2-1である。「空き巣などの侵入盗」については、住民の「地域への愛着」が高い地域で侵入盗被害の自己報告が多いという傾向が見いだされる。「家や敷地への無断侵入」については、少年が問題行動（喫煙や車へのバンダリズム）を行っても住民が注意しようとしないうちで被害の自己報告が多いという傾向が出ている。また、「車や壁が無法に壊されること」については、多くの有意な関連が出ており、住民の「地域に対する効力感」「地域への愛着」「住民間のまとまり」「少年の喫煙に対する対応」のそれぞれが低い地域ほど、バンダリズムの被害の自己報告が高い（「住民間のまとまり」については、バンダリズムの伝聞との負の関連も有意）という結果が示されている。

次に、表3-2-2は、住民のコミュニティ意識と侵入盗、ひったくりの認知件数（人口千人あたり）との関連（相関係数）を示したものである。侵入盗の認知件数（人口千人あたり）については、住民の「地域に対する効力感」「住民間のまとまり」のそれぞれが高い地域ほど侵入盗の認知件数が多いことが示されている。ひったくりの認知件数については有意な関連は見いだせない。

表3-2-2 住民のコミュニティ意識と認知件数との関連

	認知件数					
	侵入盗			ひったくり		
	H8~9年	H10年	計	H8~9年	H10年	計
地域に対する効力感	0.05	0.04	0.05	0.09	0.00	0.04
地域への愛着	0.17	0.22	0.22	-0.01	0.06	0.04
住民間のまとまり	0.15	0.12	0.17	-0.06	0.03	-0.01
不審者発見時の連絡	-0.01	-0.02	-0.02	-0.12	0.05	-0.03
少年の喫煙発見時の連絡	0.00	0.17	0.07	0.00	-0.07	-0.05
少年の問題行動発見時の連絡	-0.10	0.15	-0.02	-0.03	0.13	0.07

また表3-2-3は、住民のコミュニティ意識の各変数と各種犯罪被害に対する不安感（町丁目単位の平均値）との関連（相関係数）を示したものである。住民の「地域の愛着」が低い地域では、空き巣やひったくりに対する不安感が高く、また、少年の問題行動に対する住民の働きかけの少ない地域で、ひったくりに対する不安感が高くなっている。

表3-2-3 住民のコミュニティ意識と犯罪不安感との関連

	犯罪不安感				
	空き巣	忍び込み	ひったくり	子供への声かけ	ちかん
地域に対する効力感	0.01	-0.06	-0.12	0.06	-0.04
地域への愛着	-0.17	-0.11	-0.24	-0.09	-0.06
住民間のまとまり	-0.10	-0.12	-0.13	0.02	-0.09
不審者発見時の連絡	0.03	0.11	0.02	0.17	0.16
少年の喫煙発見時の連絡	0.08	0.02	-0.17	-0.03	0.12
少年の問題行動発見時の連絡	-0.02	-0.04	-0.20	-0.07	0.05

3 地域の無秩序

次に表3-3-1、表3-3-2、表3-3-3は、地域の無秩序と治安状況との関連（相関係数）を示したものである。ここでいう「地域の無秩序」とは、犯罪の発生といった深刻な状況を示していないが、潜在的に問題を起しそうな人（不良化しそうな少年、浮浪者らしき人、暴走族）や有害環境（風俗店の立て看板やわいせつな雑誌やビデオの自動販売機など）に対する統制が地域で十分にとれていないことを意味している。こうした状況がみられる地域は住民の居住環境に対する関心や働きかけが低いと考えられ、また住民の地域に対するコントロールの無さを潜在的な犯罪者（犯罪を行おうと機会をねらっている者）に対して顕在的に示していることになり、地域の安全上問題であると考えられる。具体的に、回答者に自分の地域で見かける程度を尋ねた項目は以下の11項目である。

- イ) 少年が集団でたむろして、たばこを吸っている
- ロ) 路上で人が言い争っている
- ハ) 浮浪者らしい人がいる
- ニ) 夜、暴走族が走り回っている
- ホ) 路上にゴミが散乱している
- ヘ) 空き地にゴミが捨てられている
- ト) 公園のベンチや公衆電話が破壊されたり、落書きされたままになっている
- チ) 自転車やバイクが路上に乗り捨てられている
- リ) 風俗店の立て看板が路上の人目に付くところに出ている
- ヌ) わいせつな雑誌やビデオが自動販売機で売られている
- ル) テレクラの会員券やツーショットカードが自動販売機で売られている

いずれの項目も、「非常によく見かける」「たまに見かける」「ほとんど見かけない」の3件法で回答を求め、見かける程度の大きい方をプラスに得点化した。前出の変数と同様に、町丁目単位で平均値を算出して分析に用いた。

まず、「地域の無秩序」と回答者の自己報告による犯罪被害経験及び伝聞との関連（相関係数）を示したのが、表3-3-1である。「空き巣などの侵入盗」については、「少年が集団でたむろしてたばこを吸っている」「浮浪者らしい人」「路上のゴミ」「空き地のゴミ」「壊されたり、落書きされた公園のベンチや公衆電話」「わいせつな雑誌やビデオの自動販売機」「ツーショットカードの自動販売機」のそれぞれが多く見られる地域で、侵入盗被害の自己報告が多くなっている（「壊されたり、落書きされた公園のベンチや公衆電話」の多い地域では侵入盗の伝聞も多い）。「家や敷地への無断侵入」については、「わいせつな雑誌やビデオの自動販売機」が多く見られる地域では、無断侵入の被害の自己報告が多く、また「浮浪者らしい人」「壊されたり、落書きされた公園のベンチや公衆電話」「路上に乗り捨てられた自転車やバイク」「路上の人目に付くところに風俗店の立て看板」が多く見られる地域では、無断侵入の伝聞が多くなっている。また「車や壁が無法に壊されること」については、「少年が集団でたむろしてたばこを吸っている」「空き地のゴミ」「壊されたり、落書きされた公園のベンチや公衆電話」「路上の人目に付くところに風俗店の立て看板」「わいせつな雑誌やビデオの自動販売機」「ツーショットカードの自動販売機」のそれぞれが多く見られる地域で、バンダリズムの伝聞が多くなっている。なお、図3-3-1に、「浮浪者らしい人」および侵入盗被害の自己報告の町丁目別集計値を図示した。

表3-3-1 地域の無秩序と犯罪被害の自己報告・伝聞との関連

	空き巣などの侵入盗		家や敷地への無断侵入		車や壁が無法に壊されること	
	被害	伝聞	被害	伝聞	被害	伝聞
集団でたむろして、たばこを吸っている少年	0.16	0.11	0.04	0.14	0.06	0.21
路上で言い争っている人	-0.10	-0.07	0.00	0.07	-0.10	0.14
浮浪者らしい人	0.24	0.01	0.11	0.22	-0.08	-0.04
夜間走り回る暴走族	0.03	0.00	-0.14	0.01	0.05	0.13
路上のゴミ	0.26	-0.06	0.03	0.07	0.04	0.00
空き地のゴミ	0.18	-0.01	-0.07	0.05	0.00	0.20
壊されたり、落書きされた公園のベンチや公衆電話	0.19	0.21	-0.01	0.16	0.01	0.20
路上に乗り捨てられた自転車やバイク	0.13	-0.02	0.07	0.18	-0.01	0.09
路上の人目に付くところに風俗店の立て看板	0.13	0.12	0.07	0.15	-0.19	0.23
わいせつな雑誌やビデオの自動販売機	0.21	0.13	0.19	0.09	0.07	0.35
テレクラの会員券やツーショットカードの自動販売	0.15	0.01	0.08	0.12	0.09	0.45

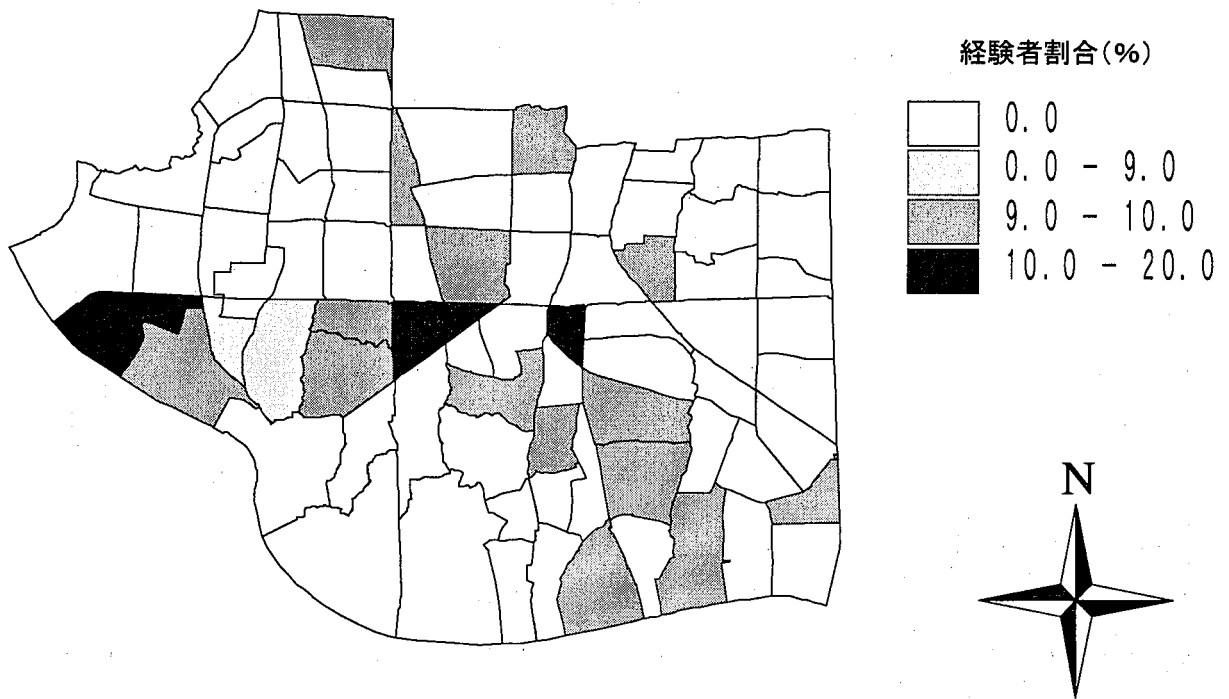
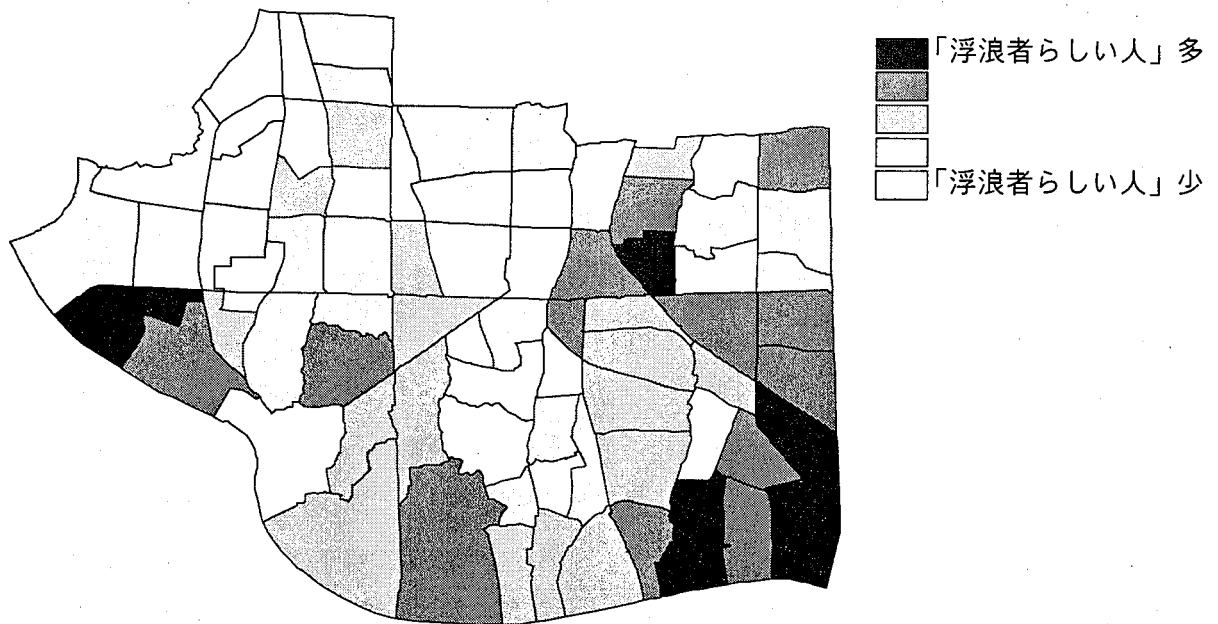


図3-3-1 地域の無秩序と侵入盗被害の自己報告

次に、表3-3-2は、「地域の無秩序」と侵入盗、ひったくりの認知件数（人口千人あたり）との関連（相関係数）を示したものである。侵入盗の認知件数（人口千人あたり）については、「少年が集団でたむろしてたばこを吸っている」と「路上で人が言い争っている」を除いたすべての無秩序が多く見られる地域ほど、侵入盗の認知件数が多いことが示されており、一貫した傾向が示されている。なお、ひったくりの認知件数については、「地域の無秩序」の変数との間で正の関連が見いだせず、ごく一部では負の関連が示され

表3-3-2 地域の無秩序と認知件数との関連

	認知件数					
	侵入盗			ひったくり		
	H8～9年	H10年	計	H8～9年	H10年	計
集団でたむろして、たばこを吸っている少年	0.00	-0.13	-0.05	-0.10	-0.07	-0.10
路上で言い争っている人	-0.13	0.10	-0.07	-0.15	-0.04	-0.11
浮浪者らしい人	0.15	0.25	0.22	0.01	-0.14	-0.09
夜間走り回る暴走族	0.20	-0.03	0.15	-0.13	-0.27	-0.25
路上のゴミ	0.17	0.14	0.19	0.13	-0.15	-0.03
空き地のゴミ	0.13	0.24	0.19	0.09	-0.05	0.01
壊されたり、落書きされた公園のベンチや公衆電話	0.20	0.20	0.24	0.06	-0.03	0.01
路上に乗り捨てられた自転車やバイク	0.10	0.19	0.15	0.00	-0.17	-0.11
路上の人目に付くところに風俗店の立て看板	0.17	0.34	0.26	0.07	-0.11	-0.04
わいせつな雑誌やビデオの自動販売機	0.16	-0.01	0.12	0.00	-0.03	-0.02
テレクラの会員券やツーショットカードの自動販売	0.26	0.00	0.21	-0.03	-0.03	-0.03

ている。

また表3-3-3は、「地域の無秩序」の各変数と各種犯罪被害に対する不安感（町丁目単位の平均値）との関連（相関係数）を示したものである。まず「浮浪者らしい人」が多く見られる地域では、「忍び込み」や「ちかん」に対する不安感が高くなっている。「路上のゴミ」が多く見られる地域では、「ひったくり」「子供への声かけ」「ちかん」に対する不安感が高く（「空き地のゴミ」と「ひったくり」の不安感との正の関連も見られる）、「路上に乗り捨てられた自転車やバイク」が多く見られる地域では「ちかん」に対する不安感が高くなっている。また「路上の人目に付くところに風俗店の立て看板」や「わいせつな雑誌やビデオの自動販売機」が多く見られる地域では、「ひったくり」「子供への声かけ」「ちかん」に対する不安感が高くなっている。

表3-3-3 地域の無秩序と犯罪不安感との関連

	犯罪不安感				
	空き巣	忍び込み	ひったくり	子供への声かけ	ちかん
集団でたむろして、たばこを吸っている少年	-0.07	0.00	-0.02	-0.09	0.06
路上で言い争っている人	-0.04	-0.14	-0.07	0.02	0.10
浮浪者らしい人	0.12	0.15	0.06	0.11	0.24
夜間走り回る暴走族	-0.20	-0.13	0.13	-0.09	0.03
路上のゴミ	0.00	-0.03	0.24	0.15	0.20
空き地のゴミ	-0.08	-0.03	0.21	0.08	0.10
壊されたり、落書きされた公園のベンチや公衆電話	-0.07	-0.15	0.09	-0.01	0.04
路上に乗り捨てられた自転車やバイク	-0.03	0.04	0.14	-0.01	0.16
路上の人目に付くところに風俗店の立て看板	-0.06	-0.04	0.25	0.09	0.19
わいせつな雑誌やビデオの自動販売機	0.06	0.10	0.15	0.18	0.24
テレクラの会員券やツーショットカードの自動販売	0.03	0.14	0.10	0.14	0.14

4 日常の安全確保の取り組み

表3-4-1、表3-4-2、表3-4-3は、地域住民による日常の安全確保の取り組み、特に近所の人や警察と協働して行う安全確保の取り組みと治安状況との関連（相関係数）を示したものである。

表3-4-1から表3-4-3に共通して示された、治安状況以外の変数の内容は以下のとおりで、いずれも各町丁目単位で回答者の回答を平均したものである。

「不審な人物を見つけたら、近所の人に注意を促す」「外出するとき、近所の人や管理人に一声かける」「近所の人と防犯パトロールをする」「近所の人と地域の安全について話し合う」・・・この4項目はいずれも日常どの程度心がけて行っているかを、「いつもしている」「ときどきしている」「ほとんどしない」で尋ね、心がけて行っている方をプラスに得点化した。

「地域の防犯活動や非行防止活動への参加」・・・現在、地域の防犯活動や非行防止活動にどの程度参加しているかを、「積極的に参加している」「一応参加している」「参加していない」「この地域では、そのような活動が行われていないと思う」の4件法で尋ね、積極的な参加の方がプラスになるように得点化した。

まず、「日常の安全確保の取り組み」と回答者の自己報告による犯罪被害経験及び伝聞との関連（相関係数）を示したのが、表3-4-1である。「空き巣などの侵入盗」については、侵入盗が起きているとの伝聞が多い地域では地域住民が協働して安全確保のために積極的に取り組む傾向が見いだされる。一方、「家や敷地への無断侵入」については、無断侵入の被害の自己報告や伝聞の多い地域では、「外出するとき、近所の人や管理人に